

有限会社 府中屋 様

豊橋商工会議所 第11回 環境経営賞

最優秀賞

カーボンゼロ脱炭素社会に向けた環境配慮型オフィス

【表彰理由】

有限会社府中屋は、釣り具の卸売業のほか、釣り環境ビジョンをスタートさせ、①釣り場の清掃、②魚資源の放流、③防波堤開放の3事業を優先的に取り組んでいる。

同社は、2021年8月に豊橋市問屋町内に「次世代型省エネ建物『ZEB』オフィス」を建設した。

建設に当たっては、先端技術を利用せず費用対効果の大きい技術、具体的には、

- ①断熱性能の向上を図るため、外断熱工法と高断熱サッシの採用、南側開口部の最少化
- ②空調負荷の低減を図るため、タスクアンビエント空調方式や床吹き出し空調の採用
- ③照明負荷の低減を図るため、全館LED照明や照度・人感センサーの採用
- ④クール&ヒートチューブ(自然エネルギー(地熱))の採用

などにより、年間一次エネルギー消費量を276.9GJ/年に抑え、基準値(1660GJ/年)から83.3%削減する設計とし、「Nearly ZEB」を達成し、BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)の最高評価である「ZEB」5スターを取得した。

なお、昨年1年間の実績では、一次エネルギー消費量を224.8GJ/年(基準値に対し、86.4%削減)となった。

そのほか、BCP対策として、太陽光発電施設と蓄電施設を整備することにより、災害時にも対応できる建物となっている。

上述のとおり、先端技術を利用せず費用対効果の高い技術を採用し、脱炭素社会に向けた環境配慮型オフィスを建設した取組は、企業の環境配慮活動事業として他の模範となる取組であり、高く評価できる。

以上の理由から、本事業に「豊橋商工会議所 環境経営賞 最優秀賞」を贈り顕彰する。

令和5年3月22日

豊橋商工会議所 環境経営賞 審査委員長  
稲垣 隆司

